

第6学年 算数科 単元計画

(土佐清水市立清水小学校)

1 単元構想図

単元名 「分数のわり算」(11時間) 教材名 『分数のわり算を考えよう』(東京書籍6年)

◆学習の流れ

第1次 1・2時

○分数でわることの意味と、真分数÷真分数の計算の仕方を考え、その計算ができる。

- ◆ $\frac{3}{4}$ dLのペンキで $\frac{2}{5}$ m²ぬるとき、1dLでぬれる面積を求める式と、その式になる理由を考え、説明する。
- ◆真分数÷真分数の計算の仕方をまとめよう。

第1次 3時

○計算の途中で約分できるときは、途中で約分すると簡単に計算できることを理解する。
 ○整数÷分数の計算や、帯分数の除法計算の仕方を理解し、その計算ができる。

- ◆ $\frac{9}{14} \div \frac{3}{4}$ の計算の工夫の仕方を考える。
- ◆ $4 \div \frac{9}{2}$ 、 $\frac{2}{3} \div 3\frac{1}{5}$ の計算の仕方を考える。

第1次 4時

○真分数でわると、商は被除数より大きくなることを理解する。
 ○3口の分数の乗除混合計算の仕方を理解し、その計算ができる。

- ◆ $12 \div 1\frac{1}{3}$ と、 $12 \div \frac{2}{3}$ の計算をして、商と被除数の大きさをくらべる。
- ◆ $\frac{3}{4} \div \frac{6}{5} \times \frac{1}{5}$ の計算の仕方を考える。

◆意識の流れ

【児童の実態】

・素直に学習に取り組む態度がみられる。理解するまでに時間がかかる児童が多く定着も弱い。既習事項も確認しないと忘れがちである。

・言葉の式や数直線を利用して考えると $\frac{3}{4} \div \frac{2}{5}$ になるね。

・分数の割り算は割る数の逆数をかけることで計算できるね。

・分数×分数や分数÷整数の計算と同じように計算のきまりがつかえるね。

・割る数が1より小さい時はもとの数より商は大きくなるね。

第1次5時

○分数、小数、整数の混じった乗除計算は、小数や整数を分数で表すと必ず計算しやすいことを理解し、その計算ができる。

- ◆ $0.3 \div \frac{3}{5}$ の計算の仕方を考える。
- ◆分数、小数、整数の混じった乗除の計算の仕方を考える

第1次6時

○数直線を用いた除法の演算決定について理解を深める。

- ◆ $\frac{4}{7}m$ の重さが $\frac{2}{5}kg$ のホースについて、ホース1mの重さ、及びホース1kgの長さを求める式を、数直線を活用しながら考える。

第2次1時

○比較量、基準量が分数の場合も倍を表す数は除法で求められることを理解する。

- ◆ $\frac{5}{4}m$ 、 $\frac{3}{8}m$ は $\frac{1}{2}m$ の何倍かの求め方を考える。
- ◆比較量、基準量が分数のときの何倍かのもとのめ方をまとめる

第〇次〇時

○倍を表す数が分数の場合も、基準量×倍=比較量で求められることを理解する。

- ◆基準量の分数倍にあたる大きさの求め方をまとめる。

・分数、小数、整数の混じった計算は分数にするといつでも計算できるんだね。

・数直線を使って表すと数量関係が分かり、式も作りやすいね。

・分数の時も、ある数の大きさがもとにする大きさの何倍にあたるかを求めるにはわり算を使うんだね。

・分数の時も～倍の大きさはもとにする大きさにかけ算もすればいいね。

第2次3時

○倍を表す数が分数の場合も、基準量は比較量÷分数倍で求められることを理解する。

- ◆900円がもとの値段の $\frac{3}{5}$ 倍にあたる時のもとの値段のもとめ方を考える。
- ◆Xを用いて立式し、Xに当てはまる数を求める。

第3次1時

○学習内容を適用して問題を解決する。

- ◆「力をつけるもんだい」に取り組む。

第3次2時

○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。

- ◆「しあげ」に取り組む。

・もとにする大きさを求めるときは、Xをつかってかけ算の式に表すと求めやすくなるね。

・学習したことをよく思い出して問題を解いてみよう。

・自分の考えを友だちに分かりやすく説明するにはどんな風にいえばいいかな。

【単元でつきたい力】

・除数が分数の場合の除法の意味や計画の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばす。

2 単元について

(1) 単元観

分数の計算において、加減計算は第4学年で同分母分数について、第5学年で異分母分数について、それぞれ学習してきた。また乗除の計算として第5学年で「分数×整数、分数÷整数」について学習している。また前単元の「数のかけ算」では分数の意味や仕方を学習している。

本単元では、「分数÷分数」を取り扱い「÷分数」の意味や仕方を考え、それらの計算ができるようにすることを主なねらいとしている。

(2) 児童（生徒）観

児童は、5年生の時に分数の加法及び減法の仕方や、乗数や除数が整数である場合の分数の乗除の計算の仕方について学習している。その場合、乗法では分数に整数をかけることや、除法では分母に整数をかけることを学んでいる。また、前単元の「数のかけ算」では「分数×分数」の計算は分母どうし、分子どうしをかけて計算することを学んでいる。

(3) 指導観

本単元の指導では、「÷分数」の計算の仕方を記入の分数を整数でわる除法の考え方を基にして導き出す。すなわち、被除数及び除数に同じ数をかけても、わっても商は変わらないという除数の性質を用いることで、分数でわる計算の仕方「わる数の逆数をかける」という形でまとめていく。留意すべきこととして、単に計算手順を教え込むのではなく「わる数の逆数をかける」という方法で計算することができる意味をしっかりとっておさえ指導していく。



3 単元の見どころ

- ◎除数が分数の場合の除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばす。

4 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形について の技能	数量や図形について の知識・理解
除数が分数の場合の除法の意味や計算の仕方に関心をもち、それらを既習の計算や除法の性質に関連づけて考えようとしている。	除数が分数の場合の除法計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて表現することができる。	分数の除法の計算ができ、それを用いることができる。	分数の除法の意味について理解している。

5 指導と評価の計画（11時間）

時	学 習 活 動	評 価					
		関	考	技	知	主な評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> • $3/4$Lのペンキで$2/5$m²の板を塗るとき、このペンキ1Lで塗れる面積を求める式を考える。 • その式になる理由を考え、説明する。 	○				<p>【関】 分数÷分数の計算の意味や計算の仕方に関心をもち、既習の計算や除法の性質に関連づけて考えようとしている。</p>	観察
2	<ul style="list-style-type: none"> • $2/5 \div 3/4$の計算の仕方を考える。 • 真分数÷真分数の計算の仕方をまとめる。 • 計算練習をする。 		◎			<p>【考】 分数÷分数の計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて説明している。</p>	ノート
3	<ul style="list-style-type: none"> • $9/14 \div 3/4$の計算の工夫の仕方を考える。 • $4 \div 9/2$の計算の仕方を考える。 • $2/3 \div 3$と$1/5$の計算の仕方考える。 • 計算練習をする。 	○			◎	<p>【関】 計算の途中で約分すると簡単に処理できることのよさに気づいている。</p> <p>【技】 整数÷分数、帯分数の除法計算ができる。</p>	観察 ノート ノート
4	<ul style="list-style-type: none"> • 1と$1/3$mの重さが12gの細い針金と、$2/3$mの重さが12gの太い針金の1mの重さをそれぞれ求め、わる数の大きさと商の大きさの関係を調べ、まとめる。 • $3/4 \div 6/5 \times 1/5$の計算の仕方考える。 • 計算練習をする。 		◎		○	<p>【考】 1を基準とした除数の大小に着目して、被除数と商の大小関係について、数直線を用いて考え、説明している。</p> <p>【技】 や、3口の分数の乗除混合計算ができる。</p>	ノート ノート
5	<ul style="list-style-type: none"> • $0.3 \div 3/5$の計算の仕方考える。 • 分数、小数、整数の混じった乗除計算の仕方をまとめる。 • 計算練習をする 			◎		<p>【技】 分数、小数、整数の混じった乗除計算ができる。</p>	ノート
6	<ul style="list-style-type: none"> • $7/4$mの重さが$2/5$kgのホースについて、ホース1mの重さ、及びホース1kgの長さを求める式を、数直線を活用しながら考える。 		◎			<p>【考】 問題場面にあった除法の立式の根拠について、数直線を用いて考え、説明している。</p>	ノート

1	<ul style="list-style-type: none"> • $5/4m$、$3/8m$は$1/2m$の何倍かの求め方を考える。 • 比較量、基準量が分数のときの何倍かの求め方をまとめる。 		◎		【技】 比較量や基準量が分数の場合も、倍を表す数を除法で求めることができる。	ノート
2	<ul style="list-style-type: none"> • 600円の$6/5$倍、$3/5$倍の代金の求め方を考える。 • 基準量の分数倍にあたる大きさの求め方をまとめる。 		◎	○	【考】 基準量×分数倍＝比較量の式について、倍の意味や数直線を基に考え、説明している。 【技】 倍を表す数が分数の場合も、基準量と倍から比較量を求めることができる。	ノート ノート
3	<ul style="list-style-type: none"> • 900円がもとの値段の$5/3$倍にあたる時の、もとの値段の求め方を考える。 • xを用いて立式し、xにあてはまる数を求める。 		◎		【技】 倍を表す数が分数の場合も、 x を用いて数量の関係を乗法の式に表し、基準量を求めることができる。	ノート
1	<ul style="list-style-type: none"> • 「力をつけるもんだい」に取り組む。 		◎		【技】 学習内容を適用して、問題を解決することができる。	ノート
2	<ul style="list-style-type: none"> • 「しあげ」の問題に取り組む。 		◎		【知】 基本的な学習内容を身につけている。	ノート

6 展開

◆第1次1時(1/11)

本時の目標	分数でわることの意味と、真分数÷真分数の計算の仕方を考え、その計算ができる。		
観点別評価規準	(関) 分数÷分数の計算の意味や計算の仕方に関心を持ち、既習の計算や除法の性質に関連づけて考えようとしている。		
準備物	数直線の拡大図		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 小数のわり算の式になる場面をとらえる。</p> <p>(1) 0.5dlのペンキで板を0.4㎡ぬれるとき、1dlでぬることができる面積を考える。</p> <p>(2) 面積を求める式を発表する。</p> <p>2 課題をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">立式の理由を説明しよう。</div> <p>(1) 自力解決</p> <p>(2) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートにかいた数直線を使って説明する。 《言語活動》 <p>(3) 全体協議</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>4 算数日記を書く。</p>	<p>・既習事項を想起させる。</p> <p>・既習の場合は数直線で考えたことを思い出させる。</p> <p>・</p>	<p>(関) 分数÷分数の計算の意味や計算の仕方に関心を持ち、既習の計算や除法の性質に関連づけて考えようとしている。</p>	<p>・観察、ノート</p>

◆第1次2時（2 / 1 1）

本時の目標	分数でわることの意味と、真分数÷真分数の計算の仕方を考え、その計算ができる。		
観点別評価規準	【考】 分数÷分数の計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて説明している。		
準備物	数直線の拡大図		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$の計算の仕方を考えよう。 </div> <p>(1) 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\frac{3}{4}$を整数に直して考える。 ・わる数を1にして考える。 <p>(2) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》 <p>(3) 全体協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通しを持ちにくい児童にはわる数を1にする方法を考えさせる。 ・2つの考え方の意味を丁寧に扱うことで既習の分数の除法の形にすることができることを児童に実感させる。 	<p>【考】 分数÷分数の計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、ノート
2 本時のまとめをする。			
3 適用問題に取り組む。			
4 算数日記を書く。			

◆第1次3時（3 / 1 1）

<p>本時の目標</p>	<p>計算の途中で約分できるときは、途中で約分すると簡単に計算できることを理解する。 整数÷分数の計算や、帯分数の除法計算の仕方を理解し、その計算ができる。</p>		
<p>観点別評価規準</p>	<p>【関】計算の途中で約分すると簡単に処理できることよさに気づいている。 【技】整数÷分数、帯分数の除法計算ができる。</p>		
<p>準備物</p>			
<p>学習の展開</p>			
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>評価規準</p>	<p>評価方法</p>
<p>1 課題1をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\frac{9}{14} \div \frac{3}{4}$ </div> <p>(1) 自力解決</p> <p>(2) ペア学習 ・ノートにかいた工夫と方法を説明する。《言語活動》</p> <p>(3) 課題2をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $4 \div \frac{9}{2} \text{ と } \frac{2}{3} \div 3 \frac{1}{5}$ </div> <p>(4) 自力解決</p> <p>(5) ペア学習 ・ノートに書いた方法を説明する。《言語活動》</p> <p>(3) 全体協議</p>	<p>・途中で約分をすると良いこと。最後に約分がもうできないか確認させる。</p>	<p>【関】計算の途中で約分すると簡単に処理できることよさに気づいている。</p> <p>【技】整数÷分数、帯分数の除法計算ができる。</p>	<p>・ノート</p> <p>・ノート</p>
<p>2 本時のまとめをする。</p>			
<p>3 適用問題に取り組む。</p>			
<p>4 算数日記を書く。</p>	<p>・約分を途中で行うという意識を育てるために問題を多く取り組ませる。</p>		

◆第1次4時（4 / 1 1）

<p>本時の目標</p>	<p>・真分数でわると、商は被除数より大きくなることを理解する。 ・3口の分数の乗除混合計算の仕方を理解し、その計算ができる。</p>		
<p>観点別評価規準</p>	<p>【考】1を基準とした除数の大小に着目して、被除数と商の大小関係について、数直線を用いて考え、説明している。 【技】や、3口の分数の乗除混合計算ができる。</p>		
<p>準備物</p>			
<p>学習の展開</p>			
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>評価規準</p>	<p>評価方法</p>
<p>1 課題をとらえる。</p> <div data-bbox="280 600 783 701" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わる数の大きさと商の大きさの関係を調べよう。</p> </div> <p>(1) 自力解決 ・商が被除数の12よりおおきくなるのはどちらかを考える。</p> <p>(2) ペア学習 ・ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》</p> <p>(3) 課題2をとらえる</p> <div data-bbox="268 1104 904 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>3つのわり算の計算の仕方を考えよう。</p> </div> <p>(4) 自力解決</p> <p>(5) ペア学習 ・ノートに書いた方法を説明する。《言語活動》</p> <p>(3) 全体協議</p>	<p>・数直線を用いて考えさせる。</p> <p>・わる数を逆数に変えるとかけ算だけの式に直せることに気づかせる。</p>	<p>【考】1を基準とした除数の大小に着目して、被除数と商の大小関係について、数直線を用いて考え、説明している。</p> <p>【技】や、3口の分数の乗除混合計算ができる。</p>	<p>行動発言</p> <p>ノート</p>
<p>2 本時のまとめをする。</p>			
<p>3 適用問題に取り組む。</p>			
<p>4 算数日記を書く。</p>			

◆第1次5時（5 / 11）

本時の目標	分数、小数、整数の混じった乗除計算は、小数や整数を分数になおすと計算しやすいことを理解し、その計算ができる。		
観点別評価規準	【技】分数、小数、整数の混じった乗除計算ができる。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 分数と小数などが混じった計算のしかたを考えよう。 </div> <p>(1) 自力解決 ・小数を分数に直して考える。 ・分数を小数に直して考える。</p> <p>(2) ペア学習 ・ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》</p> <p>(3) 全体協議</p>	<p>・分数に直しても小数に直しても答えは等しいことを確認させる。</p> <p>・分数を小数に直せない数もあることを確認する。</p>	<p>【技】分数、小数、整数の混じった乗除計算ができる。</p>	<p>観察</p> <p>ノート</p>
2 本時のまとめをする。			
3 適用問題に取り組む。			
4 算数日記を書く。			

◆第1次6時（6 / 11）

本時の目標	数直線を用いた除法の演算決定について理解を深める。		
観点別評価規準	【考】問題場面にあった除法の立式の根拠について、数直線を用いて考え、説明している。		
準備物	数直線の図		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題をとらえる。</p> <p>$\frac{7}{4}$mの重さが$\frac{2}{5}$kgのホースがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このホース1mは何kg? ・このホース1kgは何m? <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>数直線に表して、それぞれの問題はどんな式になるか考えよう。</p> </div> <p>(1) 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題場面において数直線を書く。 ・数直線を使って式を書く。 <p>(2) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》 <p>(3) 全体協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立式し、その根拠をノートに書かせる。 ・数直線をもとに立式の根拠を説明させる。 ・2つの問題の共通点と相違点についてまとめる。 	<p>【考】問題場面にあった除法の立式の根拠について、数直線を用いて考え、説明している。</p>	<p>観察 ノート</p>
2 本時のまとめをする。			
3 適用問題に取り組む。			
4 算数日記を書く。			

◆第2次1時（7／11）

本時の目標	比較量、基準量が分数の場合も、倍を表す数は除法で求められることを理解する。		
観点別評価規準	【技】比較量や基準量が分数の場合も、倍を表す数を除法で求めることができる。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題をとらえる。</p> <p>赤リボン $\frac{1}{2}$m</p> <p>青リボン $\frac{5}{4}$m</p> <p>黄リボン $\frac{3}{8}$m</p> <p>3本のリボンがあります。赤のリボンの長さをもとにすると青と黄のリボンの長さはそれぞれ何倍ですか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どんな計算をすればよいか考えよう。</p> </div> <p>(1) 自力解決 ・問題を数直線に表して、式を考える</p> <p>(2) ペア学習 ・ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》</p> <p>(3) 全体協議</p>	<p>・立式し、その根拠をノートに書かせる。</p> <p>・数直線をもとに立式の根拠を説明させる。</p> <p>分数の時でも比較量 ÷ 基準量で割合が求められることを確認する。</p>	<p>【技】比較量や基準量が分数の場合も、倍を表す数を除法で求めることができる。</p>	<p>ノート</p> <p>行動発言</p>
2 本時のまとめをする。			
3 適用問題に取り組む。			
4 算数日記を書く。			

◆第2次2時（8／11）

本時の目標	倍を表す数が分数の場合も、基準量×倍＝比較量で比較量が求められることを理解する。		
観点別評価規準	【考】 基準量×分数倍＝比較量の式について、倍の意味や数直線を基に考え、説明している。 【技】 倍を表す数が分数の場合も、基準量と倍から比較量を求めることができる。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 課題をとらえる。 ・600円の6/5倍、3/5倍の代金の求め方を考える。			
数直線に表して、式をつくろう。			
(1) 自力解決 ・数直線をもとにして考える。 ・600円の2倍は1200円になることをもとに考える。	・既習をもとに見通しをたたせる。		
(2) ペア学習 ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》	・いろいろな考えから、根拠を説明させる。	【考】 基準量×分数倍＝比較量の式について、倍の意味や数直線を基に考え、説明している。 【技】 倍を表す数が分数の場合も、基準量と倍から比較量を求めることができる。	行動発言 発表・ノート
(3) 全体協議			
2 本時のまとめをする。			
3 適用問題に取り組む。			
4 算数日記を書く。			

◆第2次3時(9/11)

本時の目標	倍を表す数が分数の場合も、基準量は比較量÷分数倍で求められることを理解する。		
観点別評価規準	【技】倍を表す数が分数の場合も、 x を用いて数量の関係を乗法の式に表し、基準量を求めることができる。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・900円がもとの値段の$\frac{5}{3}$倍にあたる時の、もとの値段の求め方を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> xを使って式をつくり x にあてはまる数を求めよう。 </div> <p>(1) 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線をもとに□を x にして考える。 ・$\frac{5}{3}$倍が2倍だったら式はどうなるかで考える。 <p>(2) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートにかいた考え方を説明する。《言語活動》 <p>(3) 全体協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習をもとにどんな計算をすればよいか考えさせる。 ・いろいろな考えを発表させ、根拠を確認する。 	<p>【技】倍を表す数が分数の場合も、基準量と倍から比較量を求めることができる。</p>	発表・ノート
<p>2 本時のまとめをする。</p> <p>3 適用問題に取り組む。</p> <p>4 算数日記を書く。</p>			

◆第3次1時(10/11)

本時の目標	学習内容を適用して問題を解決する。		
観点別評価規準	【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 本時の課題を知る。 ・力をつける問題に取り組む。</p>			
<p>これまで習ったことを使って、問題を解決しよう。</p>			
<p>(1) 自力解決 ・既習をもとに問題を解く。</p> <p>(2) ペア学習 ・ペアで答えを確認しあう。</p> <p>(3) 全体協議 ・答え合わせをして、正答、不正答を確認する。</p> <p>2 本時のまとめをする。</p> <p>3 算数日記を書く。</p>	<p>・自分の解き方との共通点や相違点を見つけながら、聞き合わせる。</p>	<p>【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。</p>	<p>ノート</p>

◆第3次2時 (11/11)

本時の目標	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。		
観点別評価規準	【知】基本的な学習内容を身につけている。		
準備物			
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 本時の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しあげの問題に取り組む。 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> これまで習ったことを確実に身につけよ。 </div>			
<p>(1) 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習をもとに問題を解く。 <p>(2) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで②③の回答を説明し合わせる。 <p>(3) 全体協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている児童には該当のページを開かせ、既習事項の確認をする。 <p>算数用語や分数のわり算の性質をつかって説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えだけでなく、求め方や考え方を説明し合うようにする。 	【知】基本的な学習内容を身につけている。	発表・ノート
<p>2 本時のまとめをする。</p> <p>3 算数日記を書く。</p>			